

平成 29 年度

学生によるオレンジリボン運動

四国大学 実施報告書



実施主体 四国大学看護学部看護学科

実施内容 平成 29 年 9 月 5 日 徳島駅前にて中高生を中心とした啓蒙活動

①事前に取り組んだ内容

看護学科 4 年生の総合実習の「育児支援」の一環として実施した。

子どもの虐待の実態や予防、オレンジリボン運動について事前学習を行い、さらにグループ討議にて学習を深めた。オレンジリボン活動実施前の準備として、対象者に合わせた啓蒙の方法・パネルの選定などを行い、学生・教員とともに街頭での啓蒙活動に備えた。

②実施期間に取り組んだ具体的な内容

徳島駅付近にて公式パネルを提示し、学生と教員により呼びかけ、パンフレット配布を行った。対象は中高生を中心に、通勤通学途中の人々に実施した。また、ゆめタウン「こどもひろば」にては、子育て中の保護者へ、1 人で悩みを抱え込まないようにすることを伝えながらパンフレット配布による啓蒙活動を行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

子育て支援施設実習において学生は、家庭で育児をするということがいかに閉鎖的で、虐待の発生と隣り合わせにあるのかを学んだ。そこで、子育てをする人だけではなく、地域で子供を支え、守る重要性を考え、今回オレンジリボン活動に参加した。30~40 代の男性には、活動に興味を示され、パンフレットを受け取ってくれたが、まだ他人事のように関心がうすい方もおられた。

オレンジリボン運動終了後の学生カンファレンスでは、自分が何を伝えるかが重要であり、明確な意識を持って啓発運動を進めることで、多くの人に伝えることができる事を理解した。今後も看護者としてこの問題にどのように関わっていくか考えを深めたい、などの意見が出た。

